

アルジェリア政治・経済月例報告
(2019年2月)

平成31年3月
在アルジェリア日本国大使館

1 内政

- 10日、ブーテフリカ大統領は、国民向けメッセージの中で、来る4月18日の大統領選挙への立候補を発表し、選出された暁には、政治、経済、社会のプラットフォーム構築を目的とした包括的な国民会議を本年から始め、さらには憲法をより充実したものとすべく提案を行う予定とした。また、セラル前首相が同大統領選挙キャンペーンの責任者に、ベンユネスMPA（アルジェリア民衆運動）党首がコミュニケーション担当責任者に任命された。
- 14日、大統領府声明によって、ラマムラ前外相が国務相兼大統領外交顧問に任命されたことが発表された。
- 19日、首相府HPは、25日に予定のウーヤヒヤ首相による国民議会における政府一般政策演説を前に、一般政策文書を公表。本件文書において、政府は非中央集権化等のガバナンス及び法の支配の強化を政策実施において優先化していること及び、内務省及び地方行政団体の改革と近代化のモメンタム継続の必要性を強調している。また、炭化水素分野では、石油精製所の改修等による国内生産の減退に直面したが、炭化水素以外の名目成長率に関し、2017年は2.4%であったのが、2018年には3.4%を記録したとしている
- 20日、ジャーバツラー正義発展戦線（FJD）党首は、同党本部での会合後、同党首が呼び掛けた野党統一候補について発表できず、同党首が読み上げた会合後の声明では、多数の県にて発生している民衆の抗議について焦点が当たり、「現況の継続を拒否するデモという憲法上の権利を行使する民衆に対する当局の対峙を警告する」と述べて民衆の平和的な抗議による野党への支持を多とした。本件会合には、ベンフリス元首相、マクリMSP党首、ラハービー元報道・文化相等の反体制著名人が参加。
- 21日、大統領府は、ブーテフリカ大統領が24日に定期的な健康診断のためにジュネーブを訪問する旨のコミュニケを発表した。期間は短期間とされた。
- 22日、アルジェ市内は現大統領の5選に反対する抗議デモに震撼した。数千人と見られるデモ参加者はブルミエメ市場といった市内の主要な場所に集まり、変革や現システムとの決別を要求しつつ、現政権への敵対的なスローガンを叫んだ。人民宮殿前で催涙ガスがまかれ、警察はデモ隊が大統領府に向かうことを阻止し、押し合いになり負傷者も発生。また、オラン、アンナバ、コンスタンティーヌ、セティフ、ベジャイア、ティアレット、トレムセン、メデア、

ティジウズといった他の主要都市でも抗議運動が行われた。

● 28日、ウーヤヒヤ首相は国民議会の一般政策演説の質疑応答に際して、「国内では一週間前から抗議行動が続いており、私たちはこの行動が平穏なものであることを嬉しく思う。抗議は憲法上の権利である。一方で、私は何らかの操作や策略を恐れている。1991年を思い出してほしい。それは今日のようなのだ。シリア内戦は当初市民が警官隊に（平穏な抗議運動の象徴として）薔薇を渡すところから始まったのだ。薔薇は、私たちの国を狙っている危険の抗しがたい証であり、我々に暗黒の10年の暴力を想起させるかのようだ」等と述べた。この発言に野党議員数名は抗議して退場。

2 外交

- 5日、アイサ宗教・ワクフ相、サヘル地域から研修のため来訪中のイマーム（集団礼拝主導者）たちと会談。
- 10日、ウーヤヒヤ首相は第32回AU総会にて「アフリカの難民問題及び関連する脅威に対処するには、根本的な原因への対処が求められている」と演説。
- 25日、ガイド・サラ国防副大臣兼国軍参謀総長は、来訪したトゥレンタ伊国防相、ベシヤレリ（Enzo VECCHIARELLI）伊国軍参謀総長の表敬を国防省で受けた。「ガ」国軍参謀総長及び伊国防相は、二国間及び多国間で達成された協力が全面的に同意するとともに、両国の軍事協力を強化することを再確認。

3 治安

- 4日付報道によると国立交通安全センター所長は、「2015年から2018年の3年間、件数は持続的に減少しており、死者数は2015年より30%、負傷者数は40%減少した。減少は道路の危険に対するドライバー意識向上を目的とする種々の仕事の成果である。しかし、2018年死者数（3310人）は依然として高く、今後もセンターは関係諸機関と協力し努力を続ける」と述べた。
- 9日付報道によると世界のサイバー安全を評価するウェブサイトComparitechは、アルジェリアを世界で最もサイバー安全度の低い国とし、最下位にランクした。同社は「原因はコンピュータや携帯電話へのウィルス攻撃が多発しているからである」とコメントしている。
- 10日、市民防衛隊はアルジェ県ベン・アクヌーン地区大学学生寮で大学生（21歳男性）が自室で殺害されているのを発見した。犯人2人は、被害者の部屋に侵入して殺害し、その後窃取した車両で逃亡した。翌11日、同地区医学部学生がキャンパス内での治安悪化に対し抗議運動を行った。

● 14日付報道によると大統領府は新国家警察庁長官としてアブデルカデル・カラ・ブーハドバ氏を任命したと発表した。新長官は同警察庁を高官で退職した人物であり、警察行政に精通している。

4 経済

● 2日、ウーヤヒヤ首相は記者会見で、当国の外貨準備高が1月末までに798億ドルにまで減少したことを認めた。昨年11月末に発表された数値は約821億ドルで、2か月あまりの間に20億ドル超の減少。

● 3日、マンスーリ国家投資開発庁（ANDI）長官は、2018年に同庁に登録された投資件数は4125件、投資の総額は1兆6760億DZDに上ると発表。このうち、外国企業の参画する投資の総額は1460億DZD。

● 4日、経営者フォーラム（FCE）は、組合への地位変更に関し労働・雇用・社会保障省から正式な承認を得たと発表。これに伴い同組織の正式名称も「経営者フォーラム連盟」（Confédération Forum des Chef d' Entreprise）に変更される。

● 5日、アラブ・マグレブ連合は、アフリカ開発銀行がモロッコ・アルジェリア・チュニジアを結ぶマグレブ横断鉄道敷設プロジェクトに係る準備的活動の資金を融資すると発表。本年3月28日には同プロジェクトについての円卓会議が開催される予定。

● 9日、関税庁は2018年の貿易統計を公表（括弧内の数字は前年比）：

輸出高：411億6800万ドル（+16.98%）

輸入高：461億9700万ドル（+0.3%）

貿易赤字：50億300万ドル（-53.73%）

● 12日、アルジェでアフリカ核エネルギー委員会（AFCONE）の臨時会合が開催され、ギトゥーニ・エネルギー相が、アフリカ諸国は核不拡散防止条約を遵守しつつ、原子力エネルギーを平和的に利用する権利を有する旨強調。同会合には他に南ア、ガーナ、モーリシャス、モーリタニア、ナミビア、ニジェール、ナイジェリア、チャド及びジンバブエが出席した。

● 13日、日産モーターとハスナウィ・グループが、自動車組立て生産事業のための合弁企業設立の署名式をアルジェで開催。工場はオラン県に建設し、2020年上半期に操業開始予定。年間6万3500台の乗用車生産を目指し、1万8000人の雇用が創出される見込み。

● 14日、ラウイア財務相は国民評議会において、凍結中の開発プロジェクトの再開について、財政状況の改善次第とし、全てのプロジェクトが再開されることはないとの見解を示した。

● 20日、国営税関伝達・情報システムセンター（CNTSID）は、2018年の

CKD方式による車両組立て生産向け構成パーツの輸入高が前年比で79.23%増の約30億ドルに上り、そのうち普通乗用車生産向けが13億2000万ドルを占めたことを発表。当国では現在4つの工場で普通乗用車が生産されており、2018年の総生産台数は約18万台（2017年は約11万台）。

●21日、アルジェ県バラキ地区のシディ・ルシン製油所が、改修工事を終え操業を再開。改修前と比べ35%生産力が向上する見込みで、ウルド・カドゥール・ソナトラック社総裁は、当国が2021年には石油精製品の輸入国から輸出国へと変わるだろうと発言。

5 日本との関係

●3日、日本大使公邸にてヌレディヌ・ヤズイド・ゼルーニ元副首相に対する旭日大綬章の勲章伝達式を挙げる。

●13日、小川大使は、アルジェ市ソフィテル・ホテルで行われた日産モーターとハスナウィ・グループの合併企業設立に係る署名式に出席。同署名式の模様は、翌日の当地各メディアによって大きく取り上げられた。

●22日～23日、アルジェ市エル・ハマメット体育館において、日本大使館とアルジェリア空手連盟が空手日本大使杯を共催。

<アルジェリア要人の外国訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
2月3～5日	アラブ首長国連邦	グラマラー・イスラム最高評議会議長	「人類友愛世界会議」に出席
2月4日	ベルギー	メサヘル外相	第5回EU・アラブ連盟閣僚会合に出席。モゲリーニEU外務・安全保障政策上級代表兼副委員長及びストルテンベルグ北大西洋条約機構（NATO）事務総長と会談。
2月4～5日	エジプト	エッダリア国民連帯・家族・女性相	第63回国連女性の地位委員会（CSW）のアフリカ閣僚準備会合に出席
2月7～8日	キューバ	ミフビ文化相	ディアスカネル大統領と第28回ハバナ国際ブック・フェア開会式を共催。メディーナ外務第一次官と会談
2月7～	エチオ	メサヘル外相	第34回AU執行委員会に出席。モ

10日	ピア		ゲリーニEU外務・安全保障政策上級代表, サラメ・リビア担当国連事務総長特別代表及びイスマイル・モーリタニア外相と会談
2月10 ~11日	エチオ ピア	ウーヤヒヤ首相	第32回AU総会に出席。ラマポーザ南ア大統領, ガインコブ・ナミビア大統領及びアビィ・エチオピア首相と会談
2月9~ 11日	アラブ 首長国 連邦	ラウイア財務相	第4回アラブ財政フォーラム及び第7回世界政府サミットに出席
2月16 日	アラブ 首長国 連邦	ガイド・サラ国軍 参謀総長	ムハンマド・アブダビ皇太子及びムハンマド副大統領兼首相兼ドバイ首長とそれぞれ会談し, 第14回国際国防見本市IDEX-2019に出席
2月19 ~21日	クウェ ート	ラウイア財務相	ファラー・ムバラク財務相とともに第10回アルジェリア・クウェート合同委員会を共催
2月20 ~21日	オラン ダ	メサヘル外相	ブロック外相と会談。クリゲンタール国際関係研究所で講演
2月20 ~25日	ニジェ ール	ベンメサウード 観光・手工業相	第14回アイル山地フェスティバルに出席。アミル産業相及びポット観光・手工業相と会談
2月23 ~25日	エジプ ト	ベンサラ国民評 議会議長	アラブ連盟・EUサミットに出席。ポレル・スペイン外務・EU・協力相と会談
2月23 ~24日	ブルキ ナファ ソ	ミフビ文化相	第26回ワガドゥク・汎アフリカ映画・テレビ・フェスティバル(Fespaco)に出席。カボレ大統領を表敬
2月25 ~28日	スイス	アヤディ外務次 官	第40回国連人権理事会に出席

<外国要人のアルジェリア訪問>

日付	国・機関等	氏名・肩書き	目的
2月5～6日	キューバ	コバス・ルイス副保健相	ハズベラーウィ保健・人口・医療改革相及びシアフィフ国民議会外務・協力・移民委員長と会談
2月13～16日	世界保健機構（WHO）	モエティ・アフリカ地域局長	ハズベラーウィ保健・人口・医療改革相及びメサヘル外相と会談。ウーヤヒヤ首相を表敬
2月19日	モーリタニア	ウルド・マフム文化・手工業・議会関係相兼大統領特使	ウーヤヒヤ首相と会談
2月19日	AU	ンジャカ・ラジオ放送アフリカ連合局長	カウアーン報道相と会談
2月19～21日	キューバ	マルミエルカ外国貿易・外国投資・パートナーシップ相	メサヘル外相, ユースフィー産業・鉱業相及びギトウーニ・エネルギー相と会談。ウーヤヒヤ首相を表敬
2月24日	米	インホフ上院軍事委員会委員長	ウーヤヒヤ首相を表敬。ティンドゥフ難民キャンプを訪問
2月25日	伊	トレンタ国防相	ガイド・サラ国軍参謀総長と会談
2月26日	チュニジア	フラティ内相	ベドゥイ内務・地方自治・国土整備相と会談。ウーヤヒヤ首相を表敬
2月26日	公証人国際連合	デ・ヤーノ会長	ルー・法務・国璽相を表敬
2月26～27日	ニジェール	アングラオ外務・協力・アフリカ統合・在外ニジェール人相	メサヘル外相と会談。ウーヤヒヤ首相を表敬

(了)